

イタリアから視察団が来訪されました。

医療法人社団 健育会 理事長 竹川 節男



Download



2018年4月24日、イタリアからの視察団が、日本における医療・介護事業についての知見を深めるため、健育会グループの病院・施設を訪問されました。

今回の健育会グループへの訪問は、エミリア・ロマーニャ州の病院や医療介護関係者などで構成されているコンソーシアム「Consorzio Colibrì」の主催で行われており、その「Consorzio Colibrì」のマネージングディレクターを勤められているAVERARDO ORTAさんと古くからの知人であった長谷川先生（健育会グループ TQM活動発表セミナー・審査員長）からのご紹介で実現しました。

視察団は総勢17名で、その構成員は「Consorzio Colibrì」に参加する病院経営に携わる経営者、エミリア・ロマーニャ州選出の国会議員、学者などとなっているとのことでした。イタリアでは、2016年には出生数が過去最低を記録し、また人口に占める65歳以上の方の割合も、欧州連合28カ国で最高を記録したとのこと、今回、イタリアの医療制度の今後の在り方などを考えていくにあたり高齢化社会への対応が進んでいる日本に学びに来られたとのことでした。



午前9時過ぎに竹川病院に来院されました。まず竹川病院の主要スタッフをご紹介し、「竹川病院」と「ケアセンターけやき」の概要を石川マネージングディレクターからご説明した後に、竹川病院・ケアセンターけやきを2班に分かれて見学いただきました。



病棟・施設内見学では、リハビリテーション室から病棟内などを特に長い時間かけて見学されました。質問はリハビリの細かい内容などにまでおよび、全てにおいて非常に興味深く見学されている姿が印象に残りました。



見学の後には、私も同席しての意見交換の時間を設けました。「マンパワーに対するコスト、入院・入居のコストなど運営について詳しく知りたい」などの他、「在宅サービスの内容とその費用について」「洗濯や清掃については、アウトソーシングか」「職員のモチベーションを上げるような仕組みはあるのか」「今後の日本の医療システムへの展望は」など、たくさんの質問を受けました。



私からはグループとしての経営や人材に関する考え方など理事長としての見解、病院運営やコストに関する詳しい内容等を、また長谷川先生からは学者としての日本の医療事情に関する解説を交えながら、一つひとつ丁寧に質問に答えさせていただきました。



今回、視察団の皆さんから「素晴らしい施設と、訓練されたスタッフが大勢いる」と非常に良い評価をいただき大変嬉しく思いましたし、細かい数字にまで質問が及び、さすが病院・施設経営に関わる経営者の皆さんだと感心いたしました。また最後には私から、健育会グループがなぜ成長することができたのかについて、その秘訣は「経営の仕組みづくり」であるということをお話ししました。

質疑応答の終了時には、Consortio Colibriからの記念品をいただきました。



昼食時には、竹川病院の病院食をお召し上がりいただきました。大好評だったようです。美食家のイタリアの方々のお口に合うか心配していましたが、高評価を頂きスタッフ一同大変嬉しく思いました。



日本は早くから高齢化が進んだことにより、介護事業における効率的な仕組みは、世界的に見ても突出していると考えています。今後、イタリアをはじめとした欧州各国やアジア諸国も日本と同じように高齢化社会を迎えていくことが予測されています。そういった意味で、健育会グループが蓄積してきた介護事業の仕組み・ノウハウを通じて、これから高齢化という課題を抱える国々でも貢献が出来ると考えています。